

三重県中学生陸上競技対校選手権大会

新型コロナウイルス感染症対策について

① 大会運営全般について

- 3密(密閉空間・密集場所・密接場面)を可能な限り排除する。
- 大人数が集まる開会式・閉会式は行わず、アナウンス通告による開始式、最小限の人数での表彰式のみ行う。
- 参加選手(補助員を含む)は「**保護者承諾書**」を必ず顧問もしくは監督に提出する。顧問・監督は保管をし、大会本部から提出を求められた場合は、速やかに提出すること。
- 大会当日受付にて**体調チェック表**を提出する。提出なき場合は出場を認めない。(出場認知書はいらない。)
- 大会役員・競技役員ともに、当日審判受付にて体調チェック表を提出する。
- 大会1日目のみに出場する選手は2日目の来場は不可とする。また、その逆も同様とする。
- 選手・役員全ての関係者において、発熱症状や体調不良等が認められる場合は入場を認めない。
- 審判 AD、顧問 AD などの大会関係者の AD を付けていない方の入場は認めない。
- 無観客大会**とする。(保護者・応援生徒・付き添い等の入場は禁止)
- 全ての大会関係者は、原則マスク着用とする。ただし、競技中(ウォーミングアップ等を含む)の選手や健康被害が発生すると判断した場合は着用しなくてもよい。なおマスクを着用しない場合はソーシャルディスタンスを十分に保ち、咳エチケット等十分に配慮すること。
- 役員室・審判控室等の諸室は、換気を十分に行う。
- 看護師を常駐させる。
- 発熱者専用の個室を準備し、通常の医務室利用者と熱中症ではないと判断された発熱者を隔離する。
- 選手待機場所や昼食場所等は十分な広さを確保するが、ソーシャルディスタンスを保ち、向かい合っでの飲食や会話は控える。
- メインスタンドを選手待機場所として開放する。ただし、座席の間隔を1席以上空けて距離を十分に保つようにする。
- 大型スクリーンや LED 表示板、放送等を活用し、感染症対策の注意喚起を適宜行う。
- 受付には透明パネル(フィルム)を設置し、飛沫感染対策を施す。
- 使用済みのマスクやティッシュ等は必ず持ち帰るようにする。会場にはゴミ箱等の設置はしない。

② 競技運営について

- 招集所は、メイン競技場の第1ゲート(ゴール側)の外側に設ける。その際、密を避けるため、招集を受けた選手は、各自スタート地点に近いゲートから競技場へ入場する。なお、進行中の競技に影響が出ないようにすること。また、トラック内フィールドに入場する場合は現地審判員の指示に従うようにする。
- 集団での応援・大声での応援・フィールド選手への声かけ(返事等)は禁止する。拍手での応援とする。
- ゴール後スタート位置に戻るときは競技場内両コーナーの芝生上を通行してもよい。天候等によってはダッグアウトを通行してもよいが、密にならないように注意する。また、進行中の競技に配慮する。
- 競技終了後は手洗い、手指消毒を行うようにする。(各自、各チーム内でも準備すること)
- 競技者が1カ所に集まると想定される競技前の待機中は、ソーシャルディスタンスを確保し、密にならないよう配慮する。また、競技者同士の必要以上の会話等は控える。
- 記録の発表はアナウンスおよび大型スクリーン、WEBの速報サイトのみとする。原則掲示は行わない。
- 表彰は、1位から3位までとする。表彰場所に密集することのないようにする。4位から8位入賞者の賞状は、顧問もしくは選手がエントランスホールまで取りに来るようにする。